

北海道拓北養護学校



コミュニティ スクール
だより

第4号

令和7年7月24日
北海道拓北養護学校
学校運営協議会事務局

7月8日(金) 第1回学校運営協議会を実施しました

今年度は、学校運営協議会を実施して3年目となります。学校運営協議会委員は昨年より人数が倍となりました。

学校運営協議会委員		事務局
服 部 潔 様	拓北興産社町内会 副会長 (三区区長)	中川雅人 (副校長)
高 橋 <に子 様	NP0 法人自立支援センター「歩歩路」 副理事長	丸橋 均 (事務長)
森 貴 之 様	札幌協働福祉会アクティビティセンター 副施設長	吉岡奈穂子(教頭)
渡 辺 一 生 様	札幌市立あいの里西小学校 校長	永井 康義(主幹教諭)
太 田 徹 様	北海道札幌英藍高等学校 校長	杉本 茂(リスクマネジメントチーム)
富 家 直 明 様	北海道医療大学心理科学部 教授	穴田 純(キャリア・サポートチーム)
池 田 千 紗 様	北海道教育大学札幌校特別支援教育専攻 准教授	村上 渉(カリキュラム・マネジメントチーム)
梅 原 麻 紀 様	北海道拓北養護学校卒業生保護者 (元 PTA 会長)	佐伯 充基(研究センターチーム)
永 沼 秀 美 様	北海道拓北養護学校保護者 (元 PTA 会長)	
広 島 理 恵 様	北海道拓北養護学校 PTA 会長	
仲 條 正 輝	北海道拓北養護学校 校長	



(学校運営協議会の様子)

新たな運営協議委員も増え、自己紹介をして和やかにスタートしました。次に校長と副校長より次の内容の説明を行い、最後に質疑応答と意見交換となりました。その内容について、お知らせいたします。

○主な説明

- 1 本校の学校運営協議会（コミュニティースクール）について (副校長)
- 2 令和7年度学校経営について (校長)

<学校経営の柱>

- (1)一人一人の発達段階に応じ、児童生徒にとって、学びが楽しく、個性を伸ばす教育の推進
- (2)安心安全な環境を維持し、命と健康を守る学校環境作りの構築
- (3)学校・家庭・地域が連携し、社会に開かれた教育課程実現の推進

<R7年度の重点目標（ミッション）>

- ①「たくほくコンパス」を核とした教育課程改善と実態把握に基づく授業改善の推進
- ②安心安全な学校環境の改善と維持
- ③地域活動プログラムを含む地域と連携した教育活動の推進

○主な御意見や質問

1【防災について】

- ・防災について、今までの防災委員会がリスクマネジメントチームになったのか？
→防災委員会は別にある。以前は生活指導部が防災を担当していたが、今年度は防災に特化した分掌としてリスクマネジメントチームを設置した。

- ・平成 27 年に本校が福祉避難所の指定となった際は P T A でも取り組んだが、その意味合いは現在の保護者に十分伝わっていないように感じた。
- ・東日本大震災で大川小学校が児童を学校に留めることを選び、悲劇が起こった。学校として色々な選択肢を検討し、得られた情報を我々にも共有していただけるとありがたい。
→福祉避難所については、校内でもまだ理解が十分でない部分がある。
今後、避難訓練の次の段階で避難所での対応なども検討していきたい。
- ・車いすを押したことがある学生がほぼゼロだったので、車いすを扱うなどの機会の設定に取り組んでいく必要がある。我々に何ができるかを考えていかなければならないと感じている。
- ・将来的に、避難訓練などを拓北養護学校や地域と一緒に取り組むことができればいいのでは、と感じている。防災センターがノウハウを教えてください、と情報を得たので、得た情報を共有させていただきたい。

2【たくたく（地域活動プログラム）について】

- ・昨年の話し合いからいろいろと具体的になってきてありがたい。「たくたく」でも保護者や教員、福祉事業所がかかわり、Win-Win な貴重な場だと感じている。活動内容によって保護者の参加への考えも異なるのも面白い。
- ・「たくたく」の曜日が金曜日に固定だと、その曜日に利用しているお子さんとししか来れないので、曜日を他に設定していただくことは可能か？
→「たくほくアート」は月曜日に行く。今後も、学校の行事などによっては金曜日以外に行くこともある。また、御要望は係に伝えておきたい。
- ・「たくほくマルシェ」について、以前のサマーフェスタではもっと多くの事業所が参加していたので、そのようなつながりを生かしてほしい。

3【交流学习等について】

- ・今年の交流では、あいの里西小学校の児童が拓北養護学校を訪問するという形となった。外部とかかわるのが大事だが、年間のカリキュラムと関連付けていかなければ持続可能な活動とならない。今年度は総合的な学習の時間に関連付けて行う。単発な取組とならないように取り組んでいきたい。
- ・今年は学生（北海道教育大学札幌校）がボランティアに入らせていただいている。現場の先生からお話を聞ける貴重な機会でありありがたい。

4【その他について】

- ・通知表に少し分かりづらい部分がある。以前は具体的な記述が多かったが、その部分が減り、寂しい印象がある。
→そのような御意見はありがたい。今年始まったばかりなので、そのような声を受けて今後検討していきたい。
- ・本州はほとんど支援学校だが、北海道は「養護学校」のままなのか。全国では、多くが「支援学校」になっている
→学校によっては、そのままの名前をあえて使っている学校もある。そのような御質問があったことを共有したい。
- ・コロナ禍後、拓北養護学校が新しく動き始めているようで大変わくわくしながら説明を聞いていた。

○校長からの挨拶

- ・貴重な御意見ありがとうございました。好意的な御意見を伺えてほっとしている。全てがうまくいくとは限らないが、昨年より少しでも良い学校にして、本校のスタンダードにしたいと考えている。本日はありがとうございました。